

## 横浜市場が初の交雑種共励会、 最優秀賞は三浦ファーム、ミートコンパニオンが落札

横浜食肉市場は14日、「令和6年横浜食肉市場交雑種枝肉共励会」を開催した。横浜市場は交雑種の扱いに力を入れており、交雑種だけのイベントを計画していた。また、12月には良質の牛がそろいやすいものの、共励会などがなかったことから、牛肉市場を盛り上げようと、初めて実施された。

土曜日にもかかわらず大勢の購買者が集まり、活気ある競りが行われた。出場したのは交雑種107頭(雌66頭、去勢41頭)。審査の結果、最優秀賞には北海道の(株)三浦ファームが出品した雌牛(父「北美津久」、格付A5、BMSNo.10、枝肉重量597kg、ロース芯面積69cm<sup>2</sup>、バラの厚さ8.6cm、歩留まり基準値72.9%)が選ばれ、(株)ミートコンパニオンがキロ当たり2461円で購買した。

上位入賞牛の出品者(牛成績、購買者)は次のとおり。優秀賞 北海道・きたそらち農業協同組合 野原ファーム(雌、格付B5、BMSNo.8、枝



肉重量500kg、単価1808円、購買者=L横浜センター)▽優等賞 群馬県・横浜第一肉牛出荷組合 奥軽井沢ファーム(雌、A5、No.9、544kg、1932円、SCミート)、青森県・金子ファーム(雌、A5、No.9、590kg、1871円、ミートコンパニオン)